

社会見学 に行ってきました！

2月24日、インテックス大阪で開催された「2017モバックショウ国際製パン製菓関連産業展」にびわ湖ワークスの利用者さん3名と行ってきました。今回の社会見学は利用者さん主体ということもあり、インテックス大阪までの切符を自分たちで購入し、大阪駅のシャトルバス乗り場までも地図を見ながら案内してもらいました。会場では、製パン製菓に必要な機械や器具、原材料などが展示されており、大型機械や大きな食洗機に釘づけになったり、うどんとは異なる方法で麺取りをするラーメンの機械をみんな興味をもって各自でメモを取りながら熱心に見学されていました。ここに一部を紹介してもらいましょう。

☆利用者さんの感想☆

- ・フードプリントという機械がありました。フードプリントは、クッキーの模様をつける機械のことです。
- ・二重熱カップは手が熱くなりにくいのでいいなと思いました。
- ・229社も来ていました。製パン機械や製菓機械がいろいろありました。
- ・チョコレートの食べ方をわかりやすく詳しく教えてくださいました。来年のバレンタインデーの参考にしたいです。



みんなでスポレック！

2月22日、ジョブカレのスポーツプログラムでスポレックをしました。スポレックとは、バトミントンコートを使って行われるテニスのことです。テニスボールではなく、柔らかいスポンジボールをラケットで打ち合います。今回は聖泉大学のインターンシップ生も参加してくださいました。テニス経験者ということもあり、ラケットの使い方などアドバイスをいただきながら取り組みました。最初はみんなラケットが使い慣れず、ぎこちない動きもありましたが、コツをつかんでいくとラリーが続くようになりました。利用者さんからは、「少し疲れたけど、楽しかった」「初めてやって難しかった」との声を聞くことができました。今後もみんなで様々なスポーツに挑戦していけるといいですね！



ホワイトデーにびわ湖ワークスの自主製品はいかがですか？

バレンタインに引き続き、ホワイトデーも素敵なお菓子の詰め合わせを販売します。しよらぎもーぶ、すのーぼーる、くつきーが入っており、1セット500円です。先着100セットで3月6日締め切りですので、お申込みはお早めをお願いします。まずはお電話にてお問い合わせ、ご注文ください。



行事予定

- 2日 イチオシ事務局会議、次世代交流セミナー
- 3日 太極拳
- 5日 元気の集い販売
- 7日 消防立ち入り検査
- 8、22日 ワークス支援会議
- 15日 権利養護委員会
- 16、30日 ジョブカレ会議
- 21日 サービス調整会議



3月の主な作業

- 自主製品
 - ・製麺作業 ・製菓作業
 - ・「いっぺき」にて接客業務 ・弁当づくり
 - ・自主製品販売
- 施設内作業
 - ・部品組み立て ・ケーブル巻き
 - ・部品検品 ・ペットボトルキャップ洗浄
 - ・梱包シール貼り・たとう紙
- 施設外就労
 - ・部品組み立て ・配線パイプ通し
 - ・部品検品洗浄 ・掃除機部品組み立て
 - ・部品袋詰め
- 施設外作業
 - ・施設清掃 ・畑作業 ・ポスティング
- 施設外就労実習
 - ・店舗品出し、清掃作業

私の趣味、こだわり

～職員リレートーク2～

生活支援員 桑原高明

今日から3月が始まりました。3月には「弥生」または「花見月」という別名がありますが、寒がり花粉症の自分にとってはつらいハナミズ期のスタートです。花粉症といっても人によって症状は様々であり、自分の場合は3～4月に鼻水に悩まされます。ピーク時には話すことはもちろん、ご飯の味も変わります。また薬の影響でのどが非常にかわきますし、眠気も差します。また集中力が1年で最も低下する時期でもあります。そこで心掛けていることはメモをとることです。3月は区切りの季節でもありますので、これまでのメモや記録を見直すのには良いタイミングかもしれません。なにかと忙しくなりそうな3月（弥生）、12月（師走）と同じくツキ（月）がなくても実力で乗り切りたいものです。おそまつ

お知らせ

びわ湖ワークス事業説明会

びわ湖ワークスをご利用の皆さん、保護者の方々を対象に、来年度の事業内容や支援方針の説明の他、日頃の作業風景の上映も行いますので、奮ってご参加下さい。

日時：4月16日（日） 10:00～

場所：能登川コミュニティセンター
学習室1、学習室2

「商家に伝わるひな人形めぐり」で 賑わっています

五個荘金堂町の近江商人屋敷などで、江戸時代から現代のひな人形までが展示されています。「うどんと喫茶の店いっぺき」にも是非お立ち寄りください。

期間：3月20日（月・祝）まで

時間：9:30～16:30

（金堂まちなみ保存交流館は 10:30～）

日々是好日～このごろ思うこと～

こぎん刺し

青森県津軽地方の伝統工芸にこぎん刺しという刺し子がある。その昔、農家儉約分限令によって、農家はわずかな布切れしか使う事が許されず、それを使って作る野良着に、耐久性と保温効果を持たせるため発展した刺し子が「こぎん刺し」である。雪国の閉ざされた冬に農家の女たちが知恵と工夫を絞りだした手仕事。北国の冬は長く、外出もままならない日も多い。その中で何が出来るか。手仕事、保存食、芸能などの上達も不自由から生まれた。知恵と工夫は、不自由を楽しみ、自由な発想を生んだと言える。今では色とりどりの糸で、伝統の図案のほかにも様々な模様がある。ジョブカレの一期生である K さんの作品が近江上布伝統産業会館「麻々の店」に並ぶ。K さんは、こぎん刺しの技術を理屈ではない感性で身に付けた。彼女にしか出来ない作品の数々に心動かされる人も多い。どの作品もひと針ひと針の彼女の時間と、オンリーワンの彼女の輝きを感じられる。

編集後記

3月はひなまつりですね。幼い頃は、ひなあられやケーキをお供えをして、きれいなお雛様を眺めるのが大好きでした。懐かしい思い出です。（N）